

令和6年度

高校生のための

熊大 **ワ** **ク** **ワ** **ク**

事業の記録



## 目 次

### 1. はじめに

高大連携推進室長挨拶	.....	2
------------	-------	---

### 2. 高校生のための熊大ワクワク連続講義

1)開講日時・講師一覧	.....	4
2)各会場受講生募集案内	.....	5
3)サテライトプログラム実施状況	.....	21
4)熊本大学夏季プログラム実施状況	.....	23
4)各会場受講者アンケート結果	.....	24
5)講義風景	.....	32

### 3. ワクワク研究室訪問

1)実施要領	.....	34
2)申込用紙	.....	35
3)実施状況	.....	37

### 4. 高大連携推進関係主要行事一覧

令和6年度高大連携推進関係主要行事一覧	.....	39
---------------------	-------	----

# 1. はじめに

## 高大連携推進室長挨拶

令和6年度の高大連携事業は、基本的感染対策は継続した上で、それぞれの場面に合った形態（対面またはオンライン等）での活動を実施してきました。その効果もあり、イベントの数や参加者数はコロナ禍前の状況、もしくはそれ以上に活発に実施することができました。その中で、平成24年度から開始した高大連携推進プロジェクトも多くの活動を実施させて頂きました。参加頂いた高校生の皆さん、開催にご協力頂いた高校の教職員の方々、講師を担当された熊大の先生方、大変ありがとうございました。この場を借りて感謝申し上げます。

令和6年7月27日と28日に熊本大学で開催した「高校生のための熊大ワクワク連続講義」（以下、「ワクワク連続講義」という）の「夏季プログラム」は、昨年度の9講義から10講義に講義数を増やし、のべ人数で362名の方にご参加頂きました。また、各高等学校や八代、玉名のホールで実施している「ワクワク連続講義」の「サテライト講義」は、八代、水俣、天草、人吉、鹿本、荒尾・玉名の6か所で実施し、635名の高校生に参加頂きました。「夏季プログラム」と「サテライト講義」の両方とも対面で実施することができ、参加された高校生から好評を頂いています。次年度（令和7年度）も、開催日程も見直ししながら、引き続き実施していきたいと考えています。

「ワクワク研究室訪問（漱石・寅彦プロジェクト）」は令和4年6月から募集を再開していますが、令和6年度は県外からの申込を含み5件の実施となりました。参加者のレポートからは感謝の言葉を頂いています。近年、高校教育で重視されている探究活動を支援する取組になればと考えています。高校生と大学教員のマッチングに課題を感じていますが、次年度はより多く実施できることを期待しています。

熊本大学では今後も高大連携事業を充実させていきたいと考えています。本事業に参加された高校生の皆さんが、研究に興味をもち、自分から課題をみつけ、より深く勉強したい、研究したいと思う対象を見つけるきっかけになれば幸いです。

令和7年3月

入試・高大連携担当副学長 市川聡夫

## **2. 高校生のためのワクワク連続講義**

# 高校生のための熊大 ワクワク連続講義

令和6年度 開催日時・講師 一覧

《受講対象》高校生及び高校教諭等

地域	開催日	授業時間	講師名	学部等	専門領域	会場	コマ数
八代	6月8日(土)	[1限]10:30-12:00	山根 聡恵	法学部	民法	やつしろ ハーモニーホール (桜十字ホール やつしろ)	2
		[2限]13:00-14:30	佐竹 翔平	情報融合学環	数学		
水俣	7月6日(土)	[1限]9:00-10:30	川越 明日香	大学教育統括管理運営機構	教育心理学 コミュニケーション	県立水俣高等学校	2
		[2限]10:45-12:15	岩佐 学	工学部	数学・統計学		
夏季 プログラム	7月27日(土)	[1限]10:25-11:55	跡上 富美	医学部保健学科	看護学	本学	合計 10コマ
		[2限]12:55-14:25	下田 健太郎	文学部	文化人類学		
			戸田 真志	情報融合学環	画像計測 メディア情報処理		
		[3限]14:40-16:10	池邊 摩依	法学部	民事訴訟法		
	7月28日(日)	[1限]10:25-11:55	大平 慎一	理学部	分析化学	本学	
			武笠 晃丈	医学部医学科	脳神経外科学		
		[2限]12:55-14:25	菰原 義弘	医学部医学科	細胞病理学		
			久保木 猛	工学部	集積回路		
		[3限]14:40-16:10	大野 正久	教育学部	経済学		
			入江 徹美	薬学部	医薬品適正使用学		
天草	8月21日(水)	同時2コマ開催	中内 哲	法学部	労働法	県立天草高等学校 ※生徒募集は7月中	2
		13:30-15:00	田中 源吾	理学部	古生物学		
人吉	9月6日(金)	同時2コマ開催	今井 伸和	教育学部	教育学、道德教育	県立人吉高等学校	2
		15:50-17:20	西山 勝彦	工学部	電気化学、分析化学 界面化学など		
鹿本	9月14日(土)	同時2コマ開催	日高 愛子	文学部	日本古典文学	県立鹿本高等学校	2
		13:30-15:00	岩崎 竜之	薬学部	医薬品包装学		
荒尾玉名	9月28日(土)	[1限]9:00-10:30	太田 寿明	法学部	法哲学・法思想史	玉名市民会館	2
		[2限]10:50-12:20	山本 雅大	医学部保健学科	腫瘍病理学		

※八代、本学、荒尾・玉名地域については、参加募集は開催1か月前をめどに本学ホームページにて告知・募集を行います。また、該当地区の高等学校へチラシを送付する予定です。参加希望の方は高等学校の先生を通して申込をお願いします。

※ 申込者多数が定員を上回る場合は高大連携推進室にて調整を行うことがあります。

【申込・問合せ】  
 熊本大学高大連携推進室  
 tel : 096-342-2712  
 e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

# 高校生のための 熊大 ワクワク連続講義 in やつしろ

## 【令和6年度サテライトプログラム受講生募集案内】

《開催場所》 桜十字ホールやつしろ（やつしろハーモニーホール）

《受講対象》 高校生および高校教諭等

	時限	講義タイトル	会場
	(開講時間)	担当講師・所属部局	
6/8 (土)	1 限目 (10:30-12:00)	騙されることは不注意か？ —詐欺により預貯金を騙し取られた87歳の高齢者と金融機関との関係について—	市民 ホール
		山根 聡恵 法学部 准教授	
	2 限目 (13:00-14:30)	ランダムネスと離散数学	市民 ホール
		佐竹 翔平 情報融合学環 准教授	

### 《担当の先生方へ》

参加申込の際は、各学校毎に所定の申込様式によりお取りまとめのうえ、

**5月30日(木)までに熊本大学高大連携推進室へ返信にて電子メールでお申し込みください。**

※申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。

調整を行う場合は、**6月3日(月)**までにご連絡します。

※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。



【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL : 096-342-2712

**e-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp**



1

6月8日(土) 10:30-12:00

山根 聡恵 法学部 准教授

テーマ：騙されることは不注意か？

—詐欺により預貯金を騙し取られた87歳の高齢者と金融機関との関係について—

内 容： 憲法や刑法とは異なり、民法にはトランプゲームの「ババ抜き」のような解決をするためのルールがあります。たとえば、Aが自分の飼っている犬1匹をBとCに別々に売った場合に、この犬がBのものになるのか、Cのものになるのかを決めるためのルールが必要となります。

本講義では、民法の特別法によって、詐欺により預貯金を騙し取られた高齢者と金融機関とのどちらがババを引くのかについて、一緒に考えてみましょう。

講師紹介： 大学で法律学を学んだとき、私にとって民法は憲法や刑法よりも難しい科目だったので、生活に関わる民法を深く知るために、勉強を続けてきました。民法を学ぶと、論理的なものの考え方が身につく上に、法律上のトラブルに巻き込まれた学生たちに法律的な救済方法を伝えて、彼らが弁護士などのプロに相談する手助けをしたりもします。

関連教科：

キーワード： 民法、契約、預貯金者保護法、過失

2

6月8日(土) 13:00-14:30

佐竹 翔平 情報融合学環 准教授

テーマ：ランダムネスと離散数学

内 容： ランダムネスはコンピュータ科学や暗号理論の主要な対象の一つであり、このランダムネスをいかにして実現するかという問題は、離散数学、整数論、群論などの様々な数学にまたがる重要な未解決問題として知られています。

本講義では、ランダムネスに関する研究の背景と最先端の課題について、関連する数学の話題に触れながら、ご紹介したいと思います。

講師紹介： 私は、学生時代には理学部数学科ではなく、いわゆる情報系の学部に属しており、そこで数学を学び、研究してきました。数学、ならびにコンピュータ科学や暗号理論などの情報科学にまたがる様々な数学的問題に広く興味を持っています。数学と情報科学の研究で、時には新しい数学的知見・問題を発見しながら、仲間と研究していくことに喜びを感じています。

関連教科：

キーワード： 数学、情報



# 高校生のための熊大

## ワクワク連続講義

## in 水俣高校

みなさんの学校で  
熊本大学を代表する研究者が  
講義をします！

《令和6年度サテライトプログラム受講生募集案内》

7月6日(土)

開催場所：熊本県立水俣高等学校

時限 (開講時間)	講義タイトル 担当講師・所属部局
1限目 (9:00-10:30)	ことばがなくても伝わる!? ～心理学の世界への誘い～ 川越 明日香 大学教育統括管理運営機構 准教授
2限目 (10:45-12:15)	データサイエンス入門 岩佐 学 工学部 准教授

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL：096-342-2712

e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

7月6日(土) 9:00-10:30

川越 明日香 大学教育統括管理運営機構 准教授

テーマ：ことばがなくても伝わる！？～心理学の世界への誘い～

内 容： みなさんは、初めて会った人を見て、まずどんなことを考えますか？「この人は〇〇なタイプの人だろう」と予測を立てることはありませんか？

私たちは、ある人物についての断片的な情報から、その人に対するまとまりのある全体像を形成したり、他者に関する情報から、その人の性格を構成する要素を推論していきます。

この講義では、様々なコミュニケーションのあり方について紹介するとともに、実際に体験しながら考えていきます。

講師紹介： 鹿児島県出身。長崎大学教育学部に進学をし、小学校教諭を目指していましたが、大学在学中に心理学と教育方法に関心を持ち、研究者の道へと転換。現在、心理学やコミュニケーションに関する科目を担当しています。

専門は、高等教育論、教育心理学。青年期の心理をベースに大学における教育改善について研究をしています。

関連教科・

キーワード： 心理学、コミュニケーション、対人関係

2

7月6日(土) 10:45-12:15

岩佐 学 工学部 准教授

テーマ：データサイエンス入門

内 容： 近年データサイエンスは様々な分野で問題解決のツールとして注目を浴びていて、現代人にとって修得したい素養の一つとなっています。

皆さんが学校で学ぶ数学、特に確率や統計がデータサイエンスにどのように繋がっていくのかについて、いくつかの代表的な分析手法を例に紹介しながらわかりやすく解説します。

講師紹介： 私は数学の応用を学びたくて理学部数学科で統計数学（統計学を記述するために必要な数学理論）を学びました。

所属が理学部から工学部へと変わり、そしてAI・機械学習の発展とともに、研究の関心も統計的決定理論（統計手法の良し悪しに関する研究）から、統計的機械学習（新手法の開発）へと移っていきました。

関連教科・

キーワード： 数学

# 高校生のための熊大 連続講義

申込みURL : <https://forms.gle/jG5DQfx5LmnxkVvp7>

## 《令和6年度 夏季プログラム受講生募集案内》

開催場所: 熊本大学黒髪北キャンパス全学教育棟

申込み  
→


7月27日 (土)	1限 10:25-11:55	1	助産師の技(わざ)を可視化してみる? 跡上 富美 医学部保健学科 教授
	2限 12:55-14:25	2-1	フィールドで出会う歴史、歴史を紡ぐメディア 下田 健太郎 文学部 准教授
		2-2	自然環境に挑む画像処理技術 - 農水産業での情報融合 - 戸田 真志 情報融合学環 教授
	3限 14:40-16:10	3	民事裁判手続のIT化 - 訴訟ってzoomとか使えないんですか? 池邊 摩依 法学部 准教授
7月28日 (日)	1限 10:25-11:55	1-1	はかつてなんぼの分析化学 ~超微量分析への挑戦~ 大平 慎一 理学部 教授
		1-2	頭の中を覗いてみよう ~脳外科医がみる脳・神経の世界 武笠 晃丈 医学部医学科 教授
	2限 12:55-14:25	2-1	病気を顕微鏡でみる - 炎症と感染、がん 菰原 義弘 医学部医学科 教授
		2-2	「半導体」ってなに? - いまそこにあるチップの危機 - 久保木 猛 工学部 准教授
	3限 14:40-16:10	3-1	経済学とはどんな学問? ~ゲーム理論と行動経済学にふれてみよう~ 大野 正久 教育学部 准教授
		3-2	クスリはリスク? ~悪魔の薬が命の薬に~ 入江 徹美 薬学部 寄付講座教員

申込〆切: 7月16日(火)

## 《 講義内容 》

1

7月27日(土) 10:25-11:55 跡上 富美 医学部保健学科 教授

テーマ: 助産師の技(わざ)を可視化してみる?

内容: 日本では一人の女性が生涯に産む子供の数は1人程度となり、一人ひとりの出産はとても大切に貴重な経験となっています。そんな出産の場面に寄り添いケアするのが助産師です。特に、「分娩介助」の技術は熟達までに時間と経験を要するといわれています。誰もが経験豊かな助産師の技術を目で見て分かりやすく学べたらと思います。そこで、熟練の技術を可視化する実験に取り組んだ経験をご紹介します。

講師紹介: 熊本県出身で助産師として働いた後、これまで看護師や助産師の養成に携わりながら女性の健康に関する研究に取り組んできました。今は、将来を担う世代が健康について自ら考え選択していくことの支援について取り組んでいます。

関連教科:

キーワード: 保健、生物

## 2-1

7月27日(土) 12:55-14:25 下田 健太郎 文学部 准教授

テーマ：フィールドで出会う歴史、歴史を紡ぐメディア

内 容： 教室のなかで歴史を学ぶことに限界を感じたことはないでしょうか？ フィールドワークを通じて人びとの多様な生き方に触れ、アタリマエだと思われる事柄を問い直してゆくことが、人類学的な学びの醍醐味です。この講義では、教員によるフィールドワークの一端をご紹介します。歴史に関するアタリマエを問い直すための方法についてお話しします。

講師紹介： 1984年、東京都中野区生まれ。これまで熊本県水俣市や沖縄県の石垣島などでフィールドワークをおこなってきました。2021年に母親のふるさとしてある熊本に赴任しました。お刺身が好物です。

関連教科・  
キーワード： 歴史総合、フィールドワーク、歴史実践

## 2-2

7月27日(土) 12:55-14:25 戸田 真志 情報融合学環 教授

テーマ：自然環境に挑む画像処理技術 - 農水産業での情報融合 -

内 容： 情報技術やAI技術は、社会の様々な活動を変革しつつあります。自然を対象とする農業や水産業も例外ではなく、「経験と勘」に頼る時代から、「データと分析」に基づく産業へとその姿を大きく変えつつあります。この講義では、情報技術、特に画像処理技術と、その一次産業分野での利活用について紹介します。熊本特産品のトマトや八代海で頻発する赤潮等を事例として取り上げる予定です。また、屋外環境や生き物を対象とした情報技術の難しさや面白さについても議論できれば、と思います。

講師紹介： 静岡県浜松市生まれ。東京大学工学部卒業後、北海道大学大学院工学研究科に進学。セコム株式会社、公立はこだて未来大学を経て、2012年に熊本大学に赴任しました。海×ICT、畑×ICT、いきもの×ICTの奥深さに魅せられつつ研究開発に励んでいます。

関連教科・  
キーワード： 情報、生物、社会、環境

## 3

7月27日(土) 14:40-16:10 池邊 摩依 法学部 准教授

テーマ：民事裁判手続のIT化 訴訟ってzoomとか使えないんですか？

内 容： コロナ禍を経て、ZOOM会議や動画を視聴した上で課題を提出するといった学習手法など、社会のあらゆる場面でウェブを用いた手法が一般的になり、私たちは、その利点と欠点を知ることになりました。この便利な手法は「法廷」には導入されないのでしょうか？導入されるとしたら、司法という重大な場面で、その欠点が、致命的な欠陥になりはしないのでしょうか？改正が重ねられている法の規律を検討し、今後のさらなる展望を一緒に考察しましょう。

講師紹介： 大阪府立三国丘高校、大阪市立大学出身。法学部で松本博之の民事訴訟法の講義に感銘を受け、民訴法学者になりました。立教大学を経て、コロナ真ただ中の2020年に熊本大学に赴任。民訴は、抽象的で難解と言われ、「眠素」と揶揄されることもあるのですが、ほんとうは公正な制度設計のあり方を問う魅力的な学問なので、面白さを伝えるべく、研究と授業に奮闘中です。

関連教科・  
キーワード： 現国（読解力）、数学（証明問題を解く思考方法）、世界史（法はローマから）



## 1-1

7月28日(日) 10:25-11:55 大平 慎一 理学部 教授

テーマ：はかつてなんぼの分析化学 ～超微量分析への挑戦～

内 容： 地球上のすべてのもの・生物は化学物質からできています。そのため、化学物質をはかることは、サイエンスにおける基盤となります。本講義では、いかにして化学物質をはかるかについて紹介します。また、人の体、半導体産業などにおいては、極めて微量な成分でも大きな影響がでます。そのような成分をはかる方法について最新の研究内容を紹介します。

講師紹介： 熊本県天草市生まれの福岡県北九州市育ちで熊本大学理学部出身。アメリカのテキサス工科大学及びテキサス大学アーリントン校で3年間研究に従事。熊本大学に赴任してからは、イオンをいかにはかるか、操るかの研究に従事し、環境、生体、工業製品の分析から放射性薬剤の合成まで幅広い研究を展開しています。

関連教科・  
キーワード： 化学、生物、物理、地学

## 1-2

7月28日(日) 10:25-11:55 武笠 晃丈 医学部医学科 教授

テーマ：頭の中を覗いてみよう ～脳外科医がみる脳・神経の世界

内 容： 脳は、人を人らしくしている場所とも言えますが、まだまだ分からないことばかりです。そんな頭の中を一緒に覗いて、その不思議さと可能性について感じてもらいたいと思います。脳について知る方法は色々ありますが、普段は脳の病気の患者さんの治療を担当し、脳を切るような手術をしている脳神経外科医の目線にたって、普段何気なく使っている頭や心の働きと、脳との関係を知ってもらえればと思います。

講師紹介： 東京新宿生まれ。東京大学卒業。生物に関わる研究をしたいと思い大学に入りましたが、大学生活のなかで人の心の働きに興味をもち、精神科医になるつもりで在学中に医学部へと進路変更しました。その後も心への興味は持ちつつも、卒業後は脳神経外科医になって、今は主に脳腫瘍の手術や研究をしています。熊本に来て、もうすぐ7年です。

関連教科・  
キーワード： 生物(脳)

## 2-1

7月28日(日) 12:55-14:25 菰原 義弘 医学部医学科 教授

テーマ：病気を顕微鏡でみる 炎症と感染、がん

内 容： この数年、「炎症」という言葉を良く聞くと思います。感染症と炎症、免疫は密接な関係にあることは皆さんご存じかと思います。顕微鏡でそのような病変を観察するとさまざまな免疫細胞の役割が推測できます。炎症と免疫、感染、がんの関係について紹介します。今回の講義は、大学生1年生用に作成したものを若干、簡単な内容にしたものです。

講師紹介： 熊本大学医学部医学科を卒業して、「病理医」という医師になりました。同時に、大学に勤務して、学生の講義や実習を担当する傍ら、がんと免疫細胞に注目した研究も行っています。

関連教科・  
キーワード： 生物学

## 2-2

7月28日(日) 12:55-14:25 久保木 猛 工学部 准教授

テーマ：「半導体」ってなに？ - いまそこにあるチップの危機 -

内 容： 『半導体はあらゆるものに使われており私の生活に欠かせません』などと解説を聞いてもいまひとつ実感できなかったり、そもそも「半導体」とは何かイメージがつかないのではありませんでしょうか？この講義では、おそらく半導体業界で最大のビジネスを持つ「集積回路(IC・LSI)の設計・製造」を題材に、半導体に関連する技術や経済、さらにこれらを取り巻く危機について解説します。

講師紹介： 大学生の時に集積回路の研究を適当にしてフラフラ旅にでたりしていたためか、卒業後も会社と大学を転々と転職を続けて、2023年に熊本大学半導体・デジタル研究教育機構。低消費電力集積回路設計の研究を片手間にしながら旧型短波ラジオでの海外放送受信やレトロPCの再生に取り組む。好きな電話機は電電公社601型。

関連教科・  
キーワード： 物理、政治・経済、科学、経済史

## 3-1

7月28日(日) 14:40-16:10 大野 正久 教育学部 准教授

テーマ：経済学とはどんな学問？ ~ ゲーム理論と行動経済学にふれてみよう~

内 容： 私たちは、様々なところで、「選択」しなければならない状況に直面します。ゲーム理論は、複数の主体の選択行動について考えていく学問です。ゲーム理論の視点から、経済活動を行う主体の様々な選択する行動をどのようにとらえることができるのかをわかりやすく説明します。また、人間の心理や行動の特徴を明らかにし、経済の問題を考えていく行動経済学についても説明します。

講師紹介： 私は、大学生のときに、様々な経済社会問題について、理論的に考えていくミクロ経済学に興味をもちました。この学問について専門的に学びたいと思い、大学院に進学しました。大学院では、財政に関する問題についてミクロ経済学の分析手法を用いた理論的な研究を行いました。その後、環境経済の分野についての理論的な研究も行ってきました。

関連教科・  
キーワード： 公民、政治・経済

## 3-2

7月28日(日) 14:40-16:10 入江 徹美 薬学部 寄付講座教員

テーマ：クスリはリスク？ ~ 悪魔の薬が命の薬に~

内 容： 「薬」という字は、「草冠」に「楽」と書きます。古来、薬は「草」などの自然界に存在するものを使って、人の苦しみを「楽」にするものとして、人々の身近な存在でした。薬は人の命を救うものですが、使い方を間違えると人を殺してしまうこともあります。この講義では、薬を創る現場、薬を正しく使う現場を紹介しながら、薬と賢く付き合う方法をお伝えしたいと思います。

講師紹介： 福岡県北九州市生まれ。高校時代の化学の先生の白衣姿がかっこいいと思い、熊本大学薬学部に入學しました。40年以上大学に勤め、3年前に退職し、日本で唯一の「医薬品包装学寄附講座」を設立しました。最近覚えた好きな言葉は「プロ・アクティブ」です。ニキビの治療薬ではありませんよ。

関連教科・  
キーワード： 化学、物理、生物



国立大学法人  
熊本大学

高大連携推進プロジェクト

# 高校生のための熊大

ワクワク連続講義

in 天草高校

みなさんの学校で  
熊本大学を代表する研究者が  
講義をします！

《令和6年度サテライトプログラム受講生募集案内》

8月21日(水)

開催場所：熊本県立天草高等学校

	(開講時間)	講義タイトル
		担当講師・所属部局
同 時 間 開 催	① (13:30-15:00)	法学部を「体感」する (高校と大学、何が・どう違う?／『六法』を引く)
		中内 哲 法学部 教授
	② (13:30-15:00)	カンブリア爆発の正体を探る
		田中 源吾 理学部 准教授

《担当の先生方へ》

参加申込の際は、所定の申込様式によりお取りまとめのうえ、

7月25日(木)までに熊本大学高大連携推進室へ返信にて電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL：096-342-2712

e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp



1

8月21日（水） 13:30-15:00

中内 哲 法学部 教授

テーマ：法学部を「体感」する

（高校と大学、何が・どう違う？／『六法』を引く）

内 容： 皆さんは、たいてい「オープンキャンパス」で大学を垣間見ます。ですが、それは普通の大学ではありません。この授業では、普通の法学部（ハード&ソフト）を伝え、高校生がひょっとしたら法学部に抱くかもしれない「あるある（誤解）」の解消を目指します。時間が許す限り、大学での授業シーンを再現します（条件が整えば『六法』を引きましょう）。

講師紹介： 生まれ：広島（尾道）、育ち：京阪神、最長居住地：九州（福岡等）と、おそらく皆さんの周りではなかなか見かけない生い立ちです。高校では禁止のアルバイト、大学生になったら、きっとやりたいですね。もらえるはずの給料が少ない、想定したよりも長く働かされる等トラブルになったら？こんなことを考える・解決するのが中内が専攻する労働法学です。

関連教科：

キーワード： 公民（公共、政治・経済）／三権分立とくに司法（裁判所）

2

8月21日（土） 13:30-15:00

田中 源吾 理学部 准教授

テーマ：カンブリア爆発の正体を探る

内 容： カンブリア爆発は、カンブリア紀に起きた生物進化の大イベントです。カンブリア紀を境に、それまで簡単なからだのつくりの生物から、複雑で大きな生物の化石が爆発的に産出するようになります。カンブリア爆発とは、一体どのようなものだったのでしょうか？最新の成果を5W1Hの形式で解説します。また、化石を観察・研究する際のコツについて、コツソリ紹介します。

講師紹介： 1974年、愛媛県出身。島根大学理学部地質学科を卒業後、静岡大学で博士を取得。その後レスター大学留学、京都大学理学部研究員、群馬県立自然史博物館学芸員、海洋研究開発機構研究技術専任スタッフ、金沢大学国際基幹教育院を経て、2019年より熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター准教授。

関連教科：

キーワード： 地学、生物

# 高校生のための 熊大

## ワクワク連続講義

## in 人吉高校

みなさんの学校で  
熊本大学を代表する研究者が  
講義をします！

《令和6年度サテライトプログラム受講生募集案内》

**9月6日(金)**

開催場所：熊本県立人吉高等学校

	(開講時間)	講義タイトル
		担当講師・所属部局
同時 時間 開催	① (15:50-17:20)	「人生の意味」について考える —フランクルの思想をとおして—  今井 伸和 教育学部 准教授
	② (15:50-17:20)	電池・燃料電池・太陽電池のしくみ  西山 勝彦 工学部 准教授

《担当の先生方へ》

参加申込の際は、所定の申込様式によりお取りまとめのうえ、

**8月30日(金)**までに熊本大学高大連携推進室へ返信にて電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL:096-342-2712

e-mail:gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

9月6日（金） 15:50-17:20

今井 伸和 教育学部 准教授

テーマ：「人生の意味」について考える ―フランクルの思想をととして―

内 容： フランクルは強制収容所の体験記『夜と霧』の著者として有名であり、またロゴセラピーと呼ばれる精神療法の創始者という精神医学者としての顔を持ちます。しかしそのみならず、彼は「人生の意味」についての思想家でもあり、その思想は現代においてますます重要な意義をもっています。本授業のねらいは、フランクル思想の紹介を通して、それを足がかりにして「人生の意味」の問題について考えることです。

講師紹介： 私は教職課程の「道德教育」を担当しており、研究を初めて30年ほどになります。そのきっかけは、大学生のときに恩師から、フランクルについて教わったことです。そのとき先生から教わったのは、フランクルについてのみならず、大学で学ぶとはどういうことか、についてでした。講義では、フランクルについて学ぶとともに、大学でどのように学ぶべきかを考えます。

関連教科・

キーワード： 道德教育、人生の意味、大学での学び

2

9月6日（金） 15:50-17:20

西山 勝彦 工学部 准教授

テーマ：電池・燃料電池・太陽電池のしくみ

内 容： 我々の生活には必需品である、一次電池であるアルカリ、マンガン乾電池、二次電池であるリチウムイオン電池のしくみ、また、実は発電装置である燃料電池の動作原理と現時点での問題点、について説明する。また、物理電池に分類されるシリコン太陽電池と将来が期待されている新しい太陽電池についても解説する。

講師紹介： 静岡県沼津市出身、関東の大学から熊本大学に赴任して30年以上経った。人生の半分以上を熊本で過ごしているが、未だに梅雨の時期の蒸し暑さには慣れない。大学時代から“電気化学”という分野で、修飾電極、化学センサー、燃料電池用の触媒などの研究を行っている。

関連教科・

キーワード： 化学、物理

# 高校生のための 熊大

## ワクワク連続講義

## in 鹿本高校

みなさんの学校で  
 熊本大学を代表する研究者が  
 講義をします！

《令和6年度サテライトプログラム受講生募集案内》

**9月14日(土)**

開催場所：熊本県立鹿本高等学校

	(開講時間)	講義タイトル
		担当講師・所属部局
同時 時間 開催	① (13:30-15:00)	今を生きる古典 — 古典文学研究の世界
		日高 愛子 文学部 准教授
	② (13:30-15:00)	国内初の研究分野の確立（立上げと 確実な歩み）を目指して
		岩崎 竜之 薬学部（医薬品包装学寄附講座） 寄附講座教員／特任准教授

《担当の先生方へ》

参加申込の際は、所定の申込様式によりお取りまとめのうえ、

**9月6日(金)**までに熊本大学高大連携推進室へ返信にて電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL:096-342-2712

e-mail:gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp



1

9月14日(土) 13:30-15:00

日高 愛子 文学部 准教授

テーマ：今を生きる古典 — 古典文学研究の世界

内容： 日本古典文学は、さまざまな人の手で書き写され、あるいは語り継がれ、今に伝えられてきました。皆さんがこれまで書店などで目にしてきた作品はそのごく一部にすぎません。本講義では、古典文学がどのように時代を乗り越え継承されてきたのか、学問としての古典文学の世界を紹介するとともに、古典文学研究の意義と魅力についてお話しします。

講師紹介： もとは近代文学に関心があり、大学の門をくぐったのですが、日本古典文学の世界に魅了され、研究の道を歩むことになりました。これまで室町時代から江戸時代までの公家の和歌について研究してきました。現在は、地域に眠る史資料に新たな光をあて、江戸時代の地方文化圏の解明をめざして調査研究を行っています。

関連教科：

キーワード： 国語（日本古典文学）

2

9月14日(土) 13:30-15:00

岩崎 竜之 薬学部（医薬品包装学寄附講座）

寄附講座教員／特任准教授

テーマ：国内初の研究分野の確立（立上げと確実な歩み）を目指して

内容： 3年前に熊本大学に国内唯一の「医薬品包装学」に関する講座が誕生しました。「包装」とは各種製品の「最終製造工程」に当たり、中身を保護するだけでなく、開封や廃棄のし易さ、記載内容のわかり易さ、他との区別のし易さ、素材の環境配慮、製造時の安全性、材料の価格が高過ぎないなどの様々な要素を兼ね揃えたものであることが求められます。さらには、同類の他製品にはないより優れた特徴がないと製品として存続していきません。この様な「医薬品包装」を学問として成り立たせる取り組みをご紹介します。

講師紹介： 三重県津市(天むす・母大福発祥地)出身。3才児の頃実家裏の神社の灯籠によじ登り、蟻の群れを夢中に観察する余り足を滑らせ下顎を3針縫ってしまうような理系少年のまま大人になってしまった人間。生命関連物質を扱う薬学に興味を惹かれ製薬企業に就職し包装業務を三十年余り経験、それを買われ3年前大学教員に転職。国内初の研究分野の確立を目指して奮闘中です。

関連教科：

キーワード： 生物・物理・化学・数学（ユニバーサルデザイン・医薬品包装学・利便性向上）

# 高校生のための 熊大

## ワクワク連続講義

### in 荒尾・玉名地区

《令和6年度サテライトプログラム受講生募集案内》

**9月28日(土)**

《開催場所》玉名市民会館(マルチホール)  
 《受講対象》高校生および高校教諭等

時限 (開講時間)	講義タイトル
	担当講師・所属部局
<b>1限目 (9:00-10:30)</b>	<b>アダム・スミス研究の最前線： 「見えざる手」をめぐって</b>
	<b>太田 寿明 法学部 准教授</b>
<b>2限目 (10:50-12:20)</b>	<b>がんを知る～どうしてがんになるのか？～</b>
	<b>山本 雅大 医学部保健学科 教授</b>

《担当の先生方へ》

参加申込の際は、各学校毎に所定の申込様式によりお取りまとめのうえ、

**9月19日(木)**までに熊本大学高大連携推進室へ電子メールでお申し込みください。

※申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。

調整を行う場合は、**9月24日(火)**までにご連絡します。

※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。



【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL:096-342-2712

e-mail:gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

9月28日（土） 9:00-10:30

太田 寿明 法学部 准教授

テーマ：アダム・スミス研究の最前線：「見えざる手」をめぐって

内 容： 18世紀イギリスの経済学者として有名なアダム・スミスは、一般に「見えざる手」の理論による「自由放任主義」の元祖として描かれる。しかし、このイメージは（一定の説得力を持つものの）近時の研究によって大幅な修正を迫られている。本授業では、こうした問題視角からスミス研究の最前線を紹介することで、研究の進展に伴うスミス理解の変革が、私たちの学びにとっていかなる新しい意味を持つのかを明らかにしたい。

講師紹介： 1991年2月東京生まれ。2021年10月より熊本大学法学部准教授。研究者になることにしたのは18歳くらいでした。20代前半よりアダム・スミスについて楽しく研究していますが、熊大に就職した30歳からまた違った意味で研究が面白くなりました。こうしたことは高校生や大学生の私には思いも寄っていませんでしたが、その時の勉強が今につながっていたとも思います。

関連教科・

キーワード： 公共、政治・経済、倫理、アダム・スミス、分業、見えざる手、自由放任主義

2

9月28日（土） 10:50-12:20

山本 雅大 医学部保健学科 教授

テーマ：がんを知る～どうしてがんになるのか？～

内 容： 日本人の2人に1人は一生のうちに「がん」にかかります。がんは自身の細胞に由来しますが、どうして「がん」ができるのでしょうか？そんな身近な「がん」について、その成り立ちを中心にお話します。がん研究を通してその成り立ちを解明していくことは、医療従事者が目指す「がん」の制圧にもつながります。本講義では、がん研究の魅力についてもお話します。

講師紹介： 医学部保健学科で病理学の学生教育・研究をしています。病院で医療従事者として働くつもりで医学部に入学しましたが、学生時にがんがなぜできるのかに興味を持ちました。大学院で発癌研究にはまり、その後がん治療に研究の幅を広げていき、現在は発癌機序に基づくがん治療研究を行っています。

関連教科・

キーワード： 生物、保健、がん



# 高校生のための 熊大 連続講義

## ～ 令和6年度サテライトプログラム 実施状況 ～

### 1. 《開催場所》桜十字ホールやつしろ（やつしろハーモニーホール） 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
6/8(土)	1限目 (10:30-12:00)	1	騙されることは不注意か？ —詐欺により預貯金を騙し取られた87歳の高齢者と 金融機関との関係について—	市民ホール	174	174	171	1	1	1	100%
			山根 聡恵 法学部 准教授								
	2限目 (13:00-14:30)	2	ランダムネスと離散数学	市民ホール	70	70	63	1	5	1	100%
			佐竹 翔平 情報融合学環 准教授								
(合計)					244	244	234	2	6	2	100%

### 2. 《開催場所》水俣高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
7/6(土)	1限目 (9:00-10:30)	1	ことばがなくても伝わる!? ～心理学の世界への誘い～	2階会議室	46	46	11	32	2	0	100%
			川越 明日香 大学教育統括管理運営機構 准教授								
	2限目 (10:45-12:15)	2	データサイエンス入門	2階会議室	45	45	11	31	2	1	100%
			岩佐 学 工学部 准教授								
(合計)					91	91	22	63	4	1	100%

### 3. 《開催場所》天草高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
8/21(水)	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	1	仏学部を「体験」する (高校と大学、何が・どう違う?／『六法』を引く)	教室棟2階 1—4教室	9	9	7	0	2	0	100%
			中内 哲 法学部 教授								
	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	2	カンブリア爆発の正体を探る	教室棟1階 視聴覚室	13	13	5	7	1	0	100%
			田中 源吾 理学部 准教授								
(合計)					22	22	12	7	3	0	100%

## ～ 令和6年度サテライトプログラム 実施状況 ～

### 4. 《開催場所》人吉高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
9/6(金)	同時2コマ開催 (15:50-17:20)	1	「人生の意味」について考える ーフランクルの思想をとおしてー	ダーウィナホ	31	31	7	11	13	0	100%
			今井 伸和 教育学部 准教授								
	同時2コマ開催 (15:50-17:20)	2	電池・燃料電池・太陽電池のしくみ	物理室	10	10	0	0	10	0	100%
			西山 勝彦 工学部 准教授								
(合計)					41	41	7	11	23	0	100%

### 5. 《開催場所》鹿本高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
9/14(土)	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	1	今を生きる古典 ー 古典文学研究の世界	2 階 2 B教室	15	15	12	2	1	0	100%
			日高 愛子 文学部 准教授								
	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	2	国内初の研究分野の確立 (立上げと確実な歩み)を目指して	2 階 2 C教室	18	18	18	4	2	0	100%
			岩崎 竜之 薬学部 特任准教授								
(合計)					33	33	30	6	3	0	100%

### 6. 《開催場所》玉名市民会館 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
9/28 (土)	1限目 (9:00-10:30)	1	アダム・スミス研究の最前線： 「見えざる手」をめぐって	マルチホール	79	79	79	0	0	0	100%
			太田 寿明 法学部 准教授								
	2限目 (10:50-12:20)	2	がんを知る～どうしてがんになるのか?～	マルチホール	68	68	65	2	1	0	100%
			山本 雅大 医学部保健学科 教授								
(合計)					147	147	144	2	1	0	100%

サテライト プログラム	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			1年生	2年生	3年生	他・不明	
(総合計)	578	578	449	91	40	3	100%

※他・不明は、教員及び学年不明の者

# 高校生のための 熊大 ワ ク ワ ク 連続講義

## ～ 令和6年度熊本大学夏季プログラム 実施状況 ～

《開催場所》熊本大学黒髪北キャンパス 全学教育棟 C101教室・C102教室・C201教室・C202教室  
 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			1年生				2年生	3年生	他・不明		
7/27 (土)	1限目 (10:25-11:55)	1	助産師の技（わざ）を可視化してみる？	C101 教室	54	54	17	27	10	0	100%
			跡上 富美 医学部保健学科 教授								
	2限目 (12:55-14:25)	2-1	フィールドで出会う歴史、歴史を紡ぐメディア	C201 教室	32	32	13	13	6	0	100%
			下田 健太郎 文学部 准教授								
		2-2	自然環境に挑む画像処理技術 ー農水産業での情報融合ー	C202 教室	11	11	3	5	3	0	100%
			戸田 真志 情報融合学環 教授								
	3限目 (14:40-16:10)	3	民事裁判手続のIT化 ー訴訟ってzoomとか使えないんですか？	C101 教室	26	26	7	15	4	0	100%
			池邊 摩依 法学部 准教授								
7/28 (日)	1限目 (10:25-11:55)	1-1	はかってなんばの分析化学 ～超微量分析への挑戦～	C101 教室	21	21	11	4	5	1	100%
			大平 慎一 理学部 教授								
		1-2	頭の中を覗いてみよう ー脳外科医がみる脳・神経の世界	C102 教室	29	29	15	12	2	0	100%
			武笠 晃丈 医学部医学科 教授								
	2限目 (12:55-14:25)	2-1	病気を顕微鏡でみる ー炎症と感染、がん	C201 教室	22	22	12	6	4	0	100%
			菰原 義弘 医学部医学科 教授								
		2-2	「半導体」ってなに？ ーいまそこにあるチップの危機ー	C202 教室	37	37	11	15	10	1	100%
			久保木 猛 工学部 准教授								
	3限目 (14:40-16:10)	3-1	経済学とはどんな学問？ ーゲーム理論と行動経済学にふれてみようー	C101 教室	36	36	17	12	6	1	100%
			大野 正久 教育学部 准教授								
3-2		クスリはリスク？ ～悪魔の薬が命の薬に～	C102 教室	40	40	24	10	6	0	100%	
		入江 徹美 薬学部 寄付講座教員									
(合 計)					308	308	130	119	56	3	100%

※他・不明は、教員及び学年不明の者

令和6年 6月8日(土)

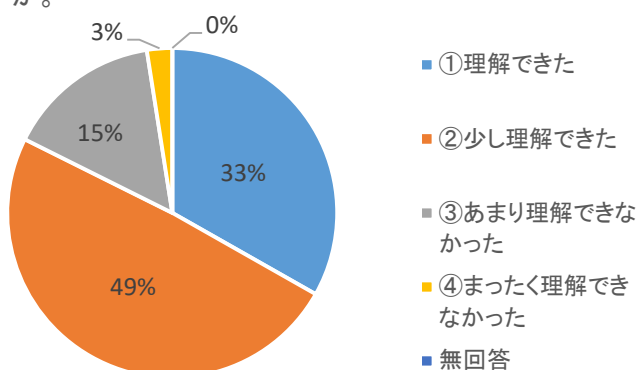
受講者数 244 名

アンケート回答数 244 名

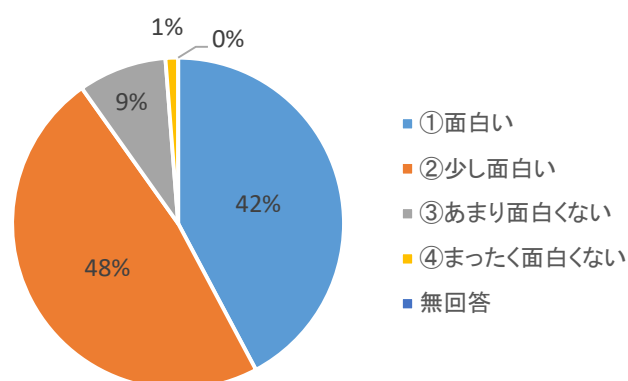
学年	人数
1年	233
2年	3
3年	6
教員・不明	2
合計	244

性別	人数
男	115
女	129
無回答	0
合計	244

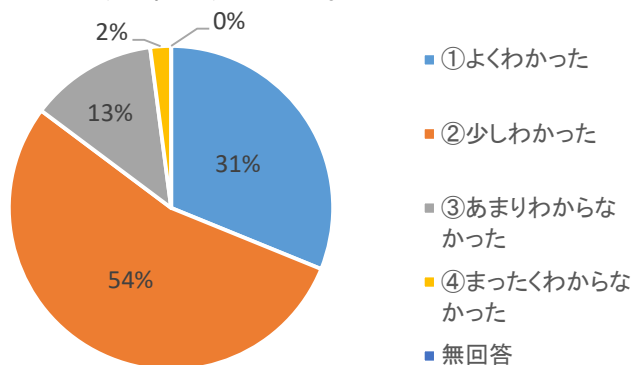
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



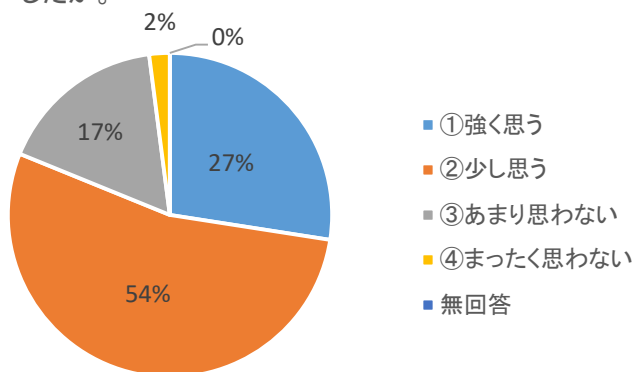
2)研究内容はおもしろそうと思いましたか。



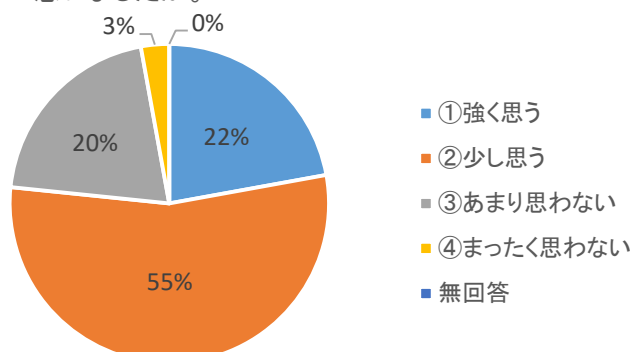
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたいと思いましたか。



令和6年 7月6日(土)

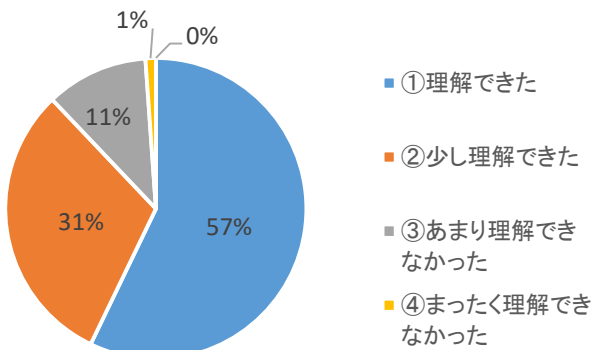
受講者数 91 名

アンケート回答数 91 名

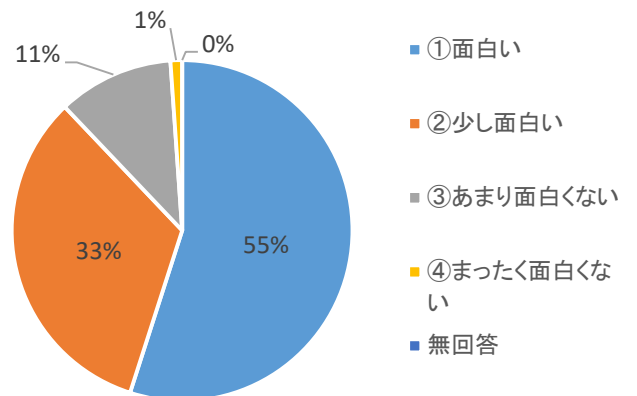
学年	人数
1年	22
2年	63
3年	4
その他	2
合計	91

性別	人数
男	46
女	45
無回答	0
合計	91

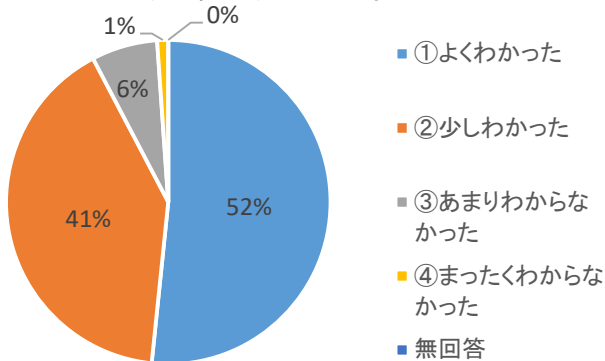
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



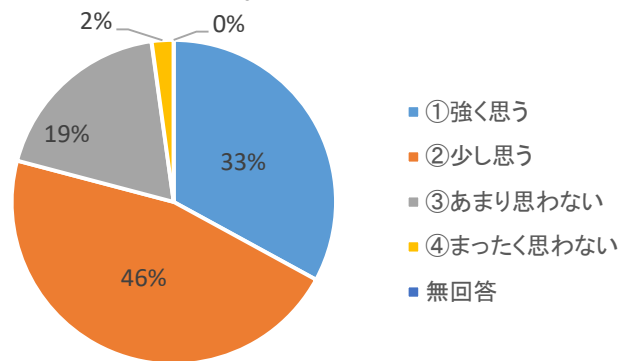
2)研究内容はおもしろそうと思いましたか。



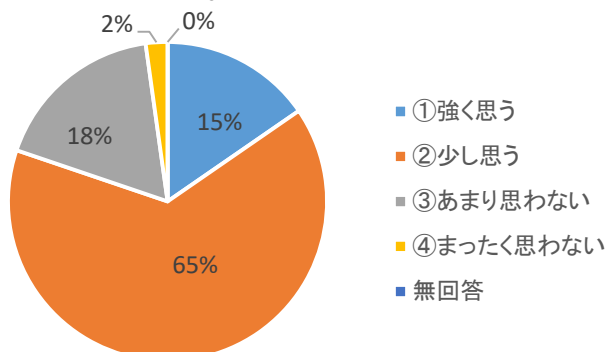
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたいと思いましたか。



令和6年 8月21日(水)

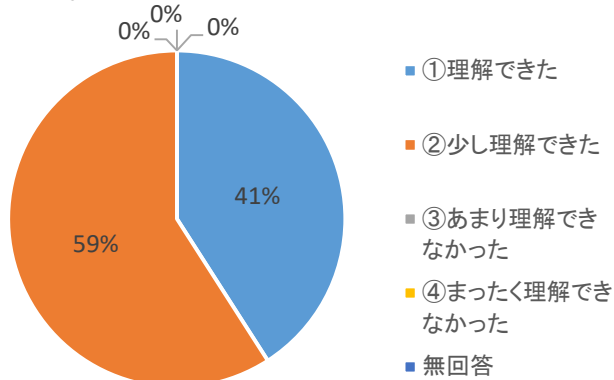
受講者数 22 名

アンケート回答数 22 名

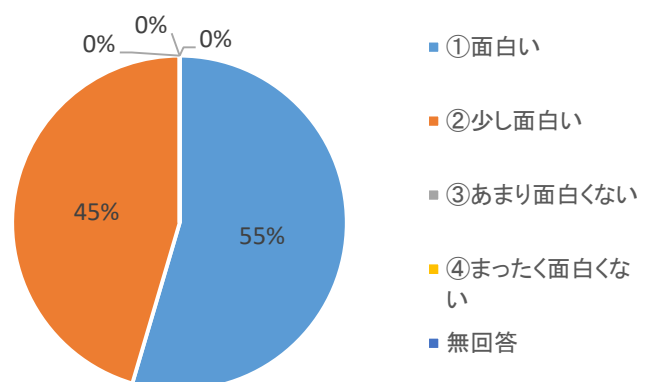
学年	人数
1年	12
2年	7
3年	3
その他	0
合計	22

性別	人数
男	11
女	11
無回答	0
合計	22

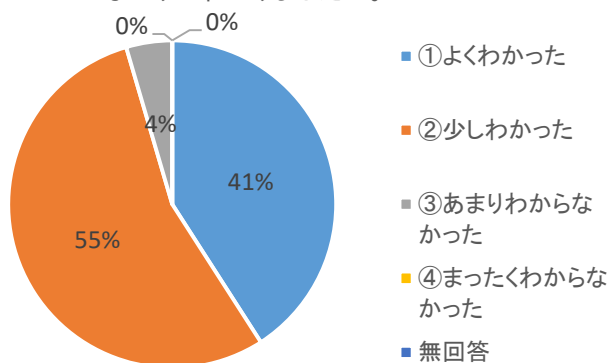
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



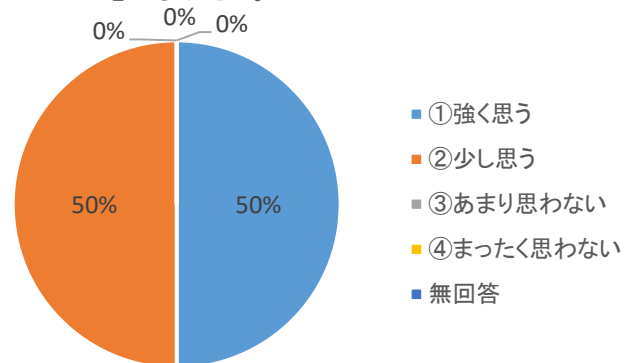
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



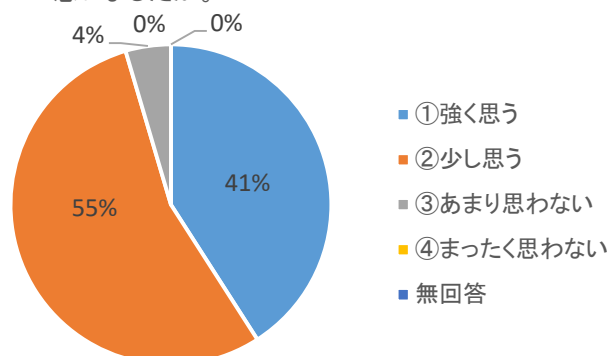
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたいと思いましたか。



令和6年 9月6日(金)

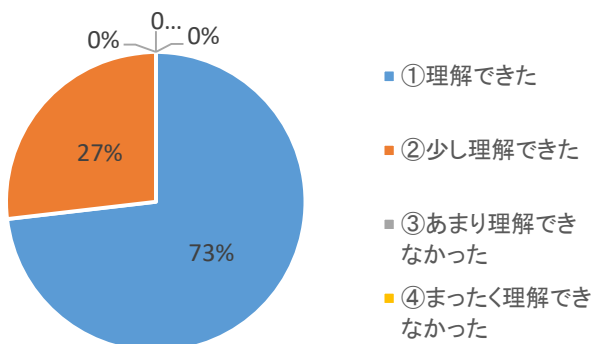
受講者数 41 名

アンケート回答数 41 名

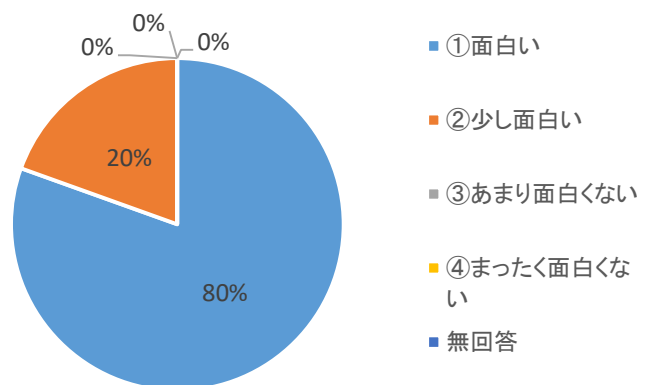
学年	人数
1年	7
2年	11
3年	23
その他	0
合計	41

性別	人数
男	24
女	17
無回答	0
合計	41

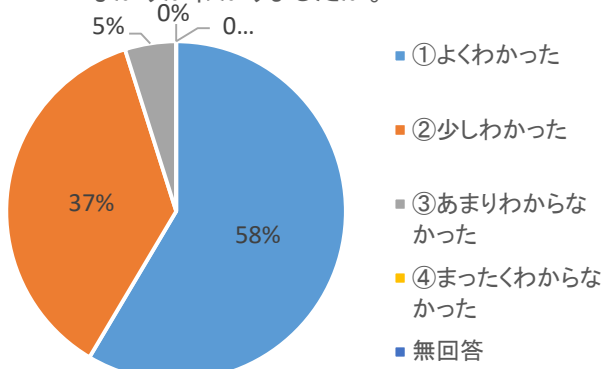
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



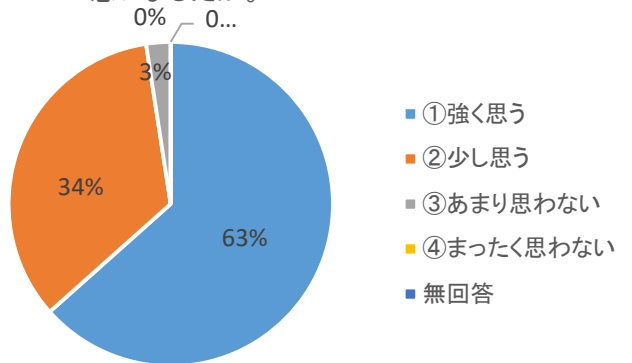
2)研究内容はおもしろそうと思いましたか。



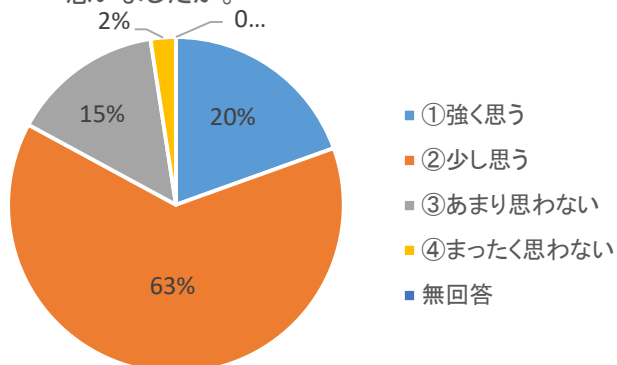
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたいと思いましたか。





令和6年9月14日(土)

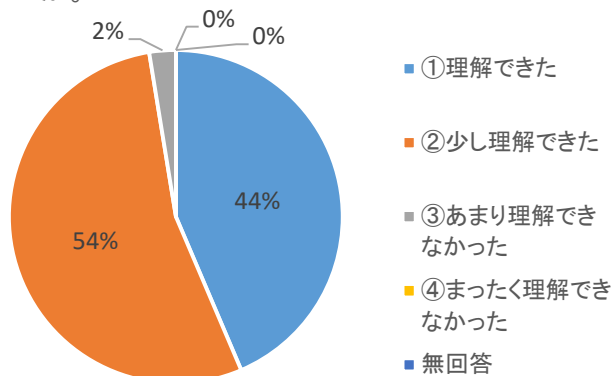
受講者数 39 名

アンケート回答数 39 名

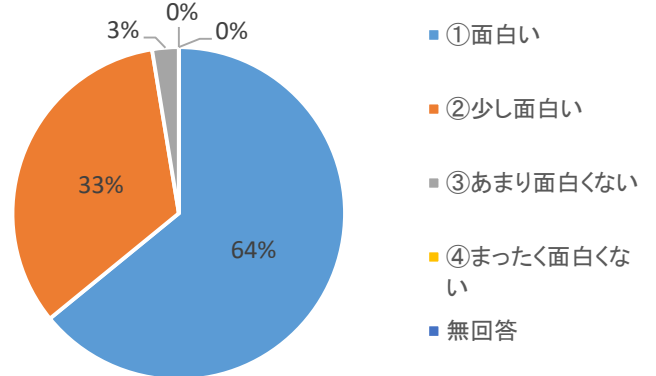
学年	人数
1年	30
2年	6
3年	3
その他	0
合計	39

性別	人数
男	21
女	18
無回答	0
合計	39

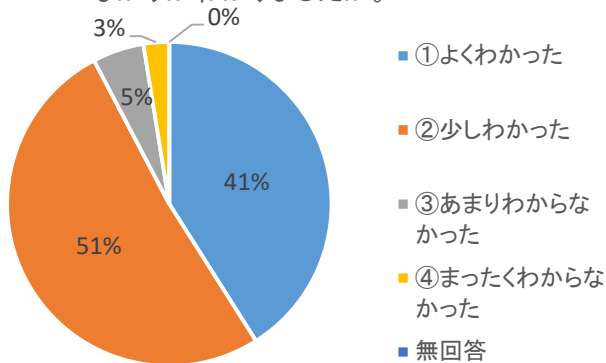
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



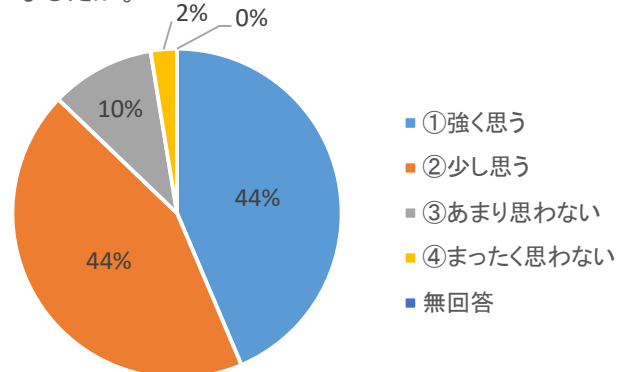
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



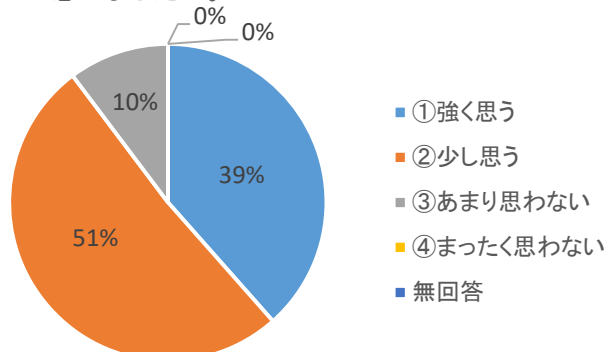
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたいと思いましたか。



令和6年9月28日(土)

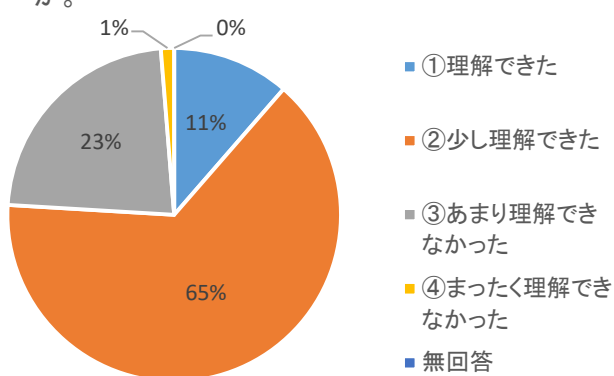
受講者数 79 名

アンケート回答数 79 名

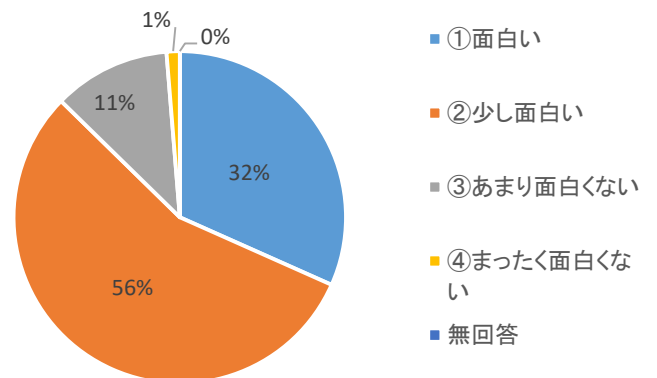
学年	人数
1年	79
2年	0
3年	0
その他	0
合計	79

性別	人数
男	35
女	44
無回答	0
合計	79

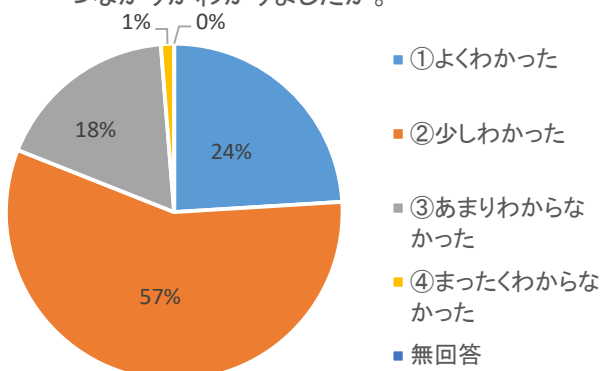
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



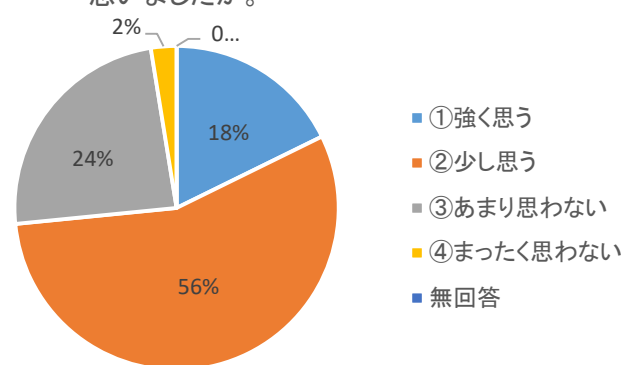
2)研究内容はおもしろそうと思いましたか。



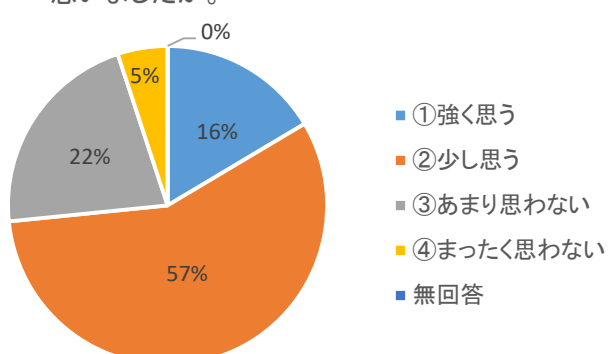
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたいと思いましたか。



# R6 熊大ワクワク連続講義 夏季プログラム 受講者アンケート

令和6年 7月27日(土)・7月28日(日)

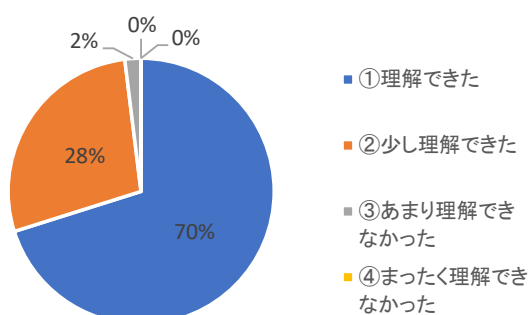
受講者数 308 名

アンケート回答数 308 名

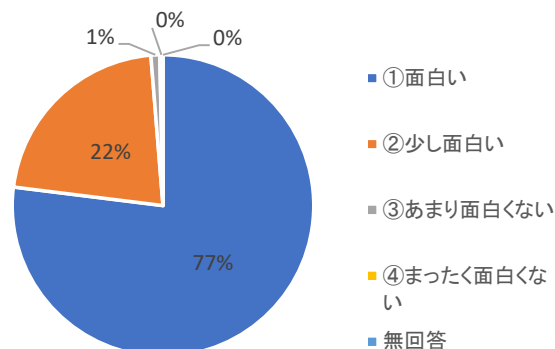
学年	人数
1年	130
2年	119
3年	56
その他	3
合計	308

性別	人数
男	83
女	225
無回答	0
合計	308

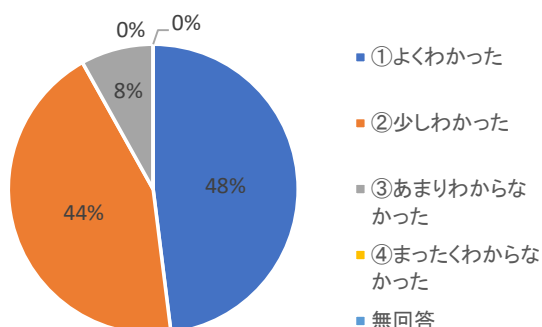
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



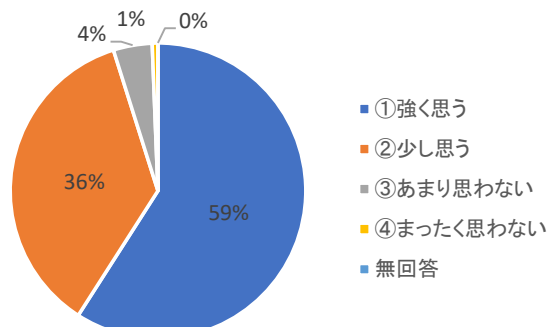
2)研究内容はおもしろそうでしたか。



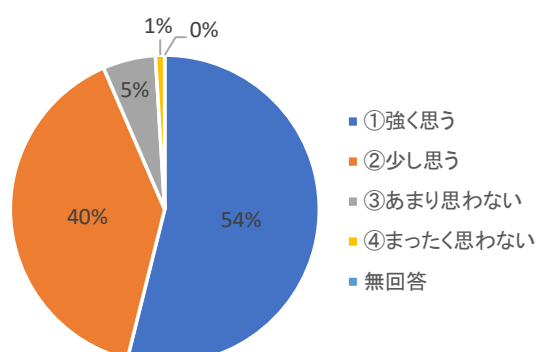
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりが、わかりましたか。



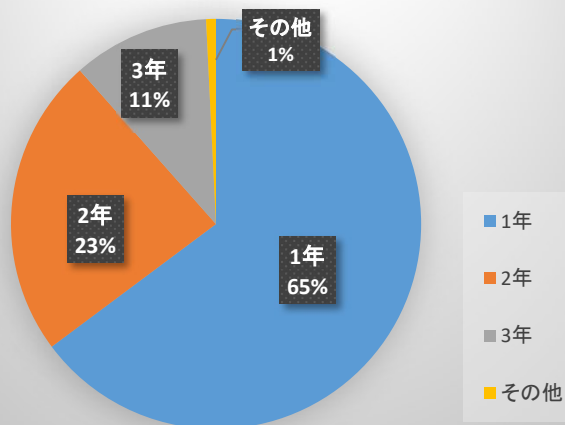
4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。



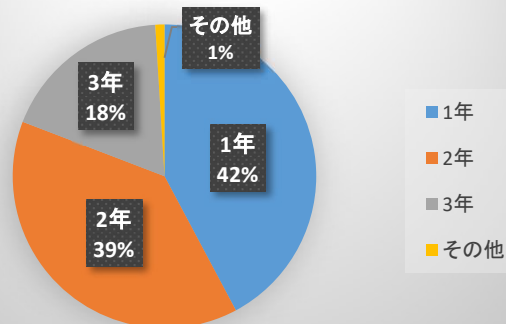
5)この講義を受講して、熊本大学で学びたいと思いましたか。



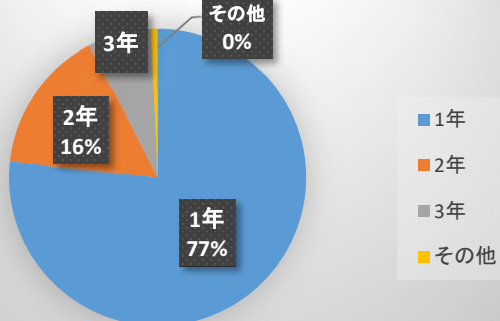
受講者構成(全体)



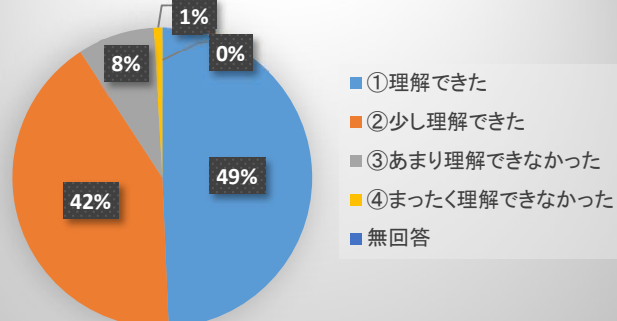
受講者構成(夏季プログラム)



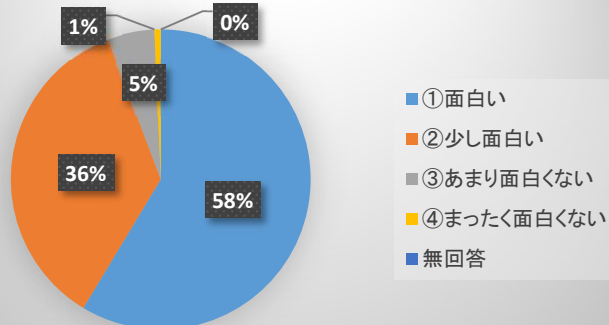
受講者構成(サテライトプログラム)



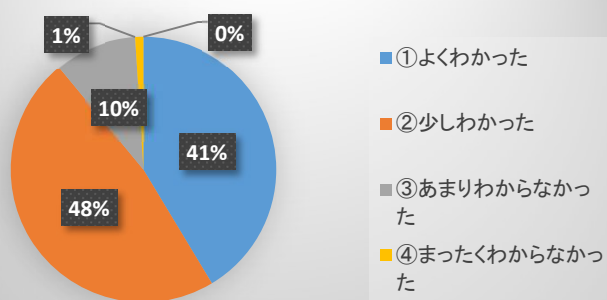
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



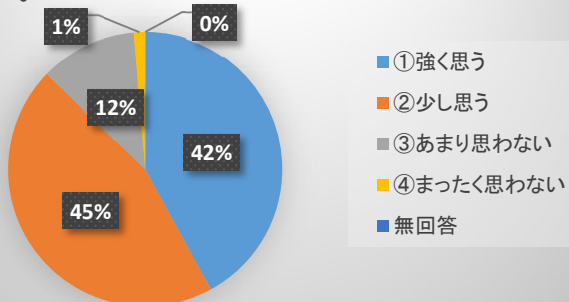
2)研究内容はおもしろそうと思いましたか。



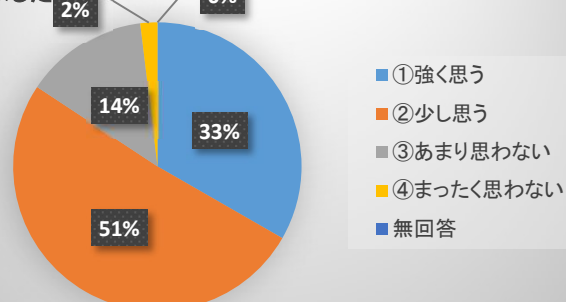
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して、熊本大学で学びたいと思いましたか。



## 【ワクワク連続講義風景】

【八代地区サテライト】



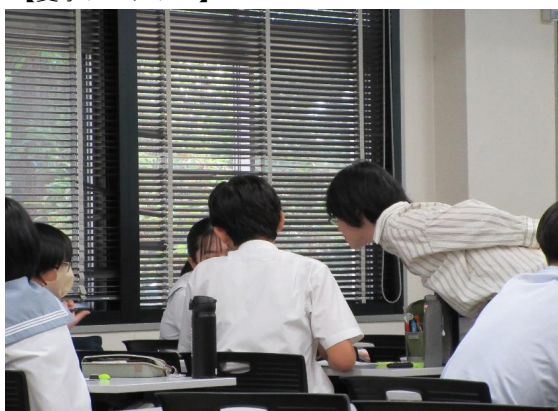
【水俣高等学校】



【天草高等学校】



【夏季プログラム】



【人吉高等学校】



【鹿本高等学校】



【荒尾・玉名地区サテライト】



### **3. ワクワク研究室訪問**



## ワクワク研究室訪問（漱石・寅彦プロジェクト）実施要領

### 1. 目的

高い学習意欲を持つ高校生が、興味・関心を持つ学問分野への理解を一層深めるとともに、創造性や才能を伸ばすことができるように、本学の研究室を訪問し、高度な教育・研究に触れる機会を提供する。

### 2. 趣旨

- (1) 高校生が、興味のある研究を行っている研究室を訪問し、研究内容について説明を聞いて、知的刺激を受ける。
- (2) 高校生が部活等で行っている研究について、テーマと関係がある研究室を訪問し、本学の教員に指導・助言を求める。

### 3. 実施方法

- 1) 高校生は、別紙申込用紙に希望する学部名（分野）、教員名（わからなければ空欄）、訪問の目的、訪問を希望する時期等を記載し、所属高校を通じて熊本大学高大連携推進室（以下「高大連携推進室」という。）に申し込む。
- 2) 高大連携推進室は、高校生が希望する研究室（教員）について、各学部の高大連携推進委員会委員等を通じて探し、該当する研究室に受諾の可否を照会する。
- 3) 研究室が高校生の訪問を受諾する場合、高大連携推進室は高校に回答するとともに、訪問時期の調整を行う。
- 4) 研究室訪問は、基本的に1～3名、月1回、1時間程度とする。高校生が2回目以降の訪問を希望し、教員が受諾する場合、その時期や回数等は教員の判断するところとする。受諾の可否について、教員は高大連携推進室に連絡する。なお、高校生は、2回目以降もその都度、別紙申込書を高大連携推進室に提出する。
- 5) 高校生に研究室での実験を許可する場合は、実験を開始する前に高校生に保険に加入してもらうので、教員は高大連携推進室に連絡する。実験の費用については、教員と高校との話し合いによって決める。
- 6) 高校生は、研究室訪問後毎回2週間以内にレポートを高大連携推進室に提出する。
- 7) 高校生を積極的に受け入れたい研究室においては、URL等で研究の内容を公開し、高大連携推進室に連絡する。



## ワクワク研究室訪問 訪問申込用紙

訪問希望者氏名	(学年： )
グループメンバー氏名 (同行予定者)	(学年： ) (学年： )
希望学部名 (分野)	
希望教員名 (空欄可)	

### 《訪問したい時期について》

第一希望	第二希望	第三希望
時期：	時期：	時期：
時間帯：	時間帯：	時間帯：

### これまで興味を持って取り組んできた学習や研究 (活動) 内容について

### 訪問の目的 (研究室にて指導をお願いしたいことはどんなことですか?)

高等学校指導教員記入欄  高等学校名： 指導教員名： 高等学校住所： 高等学校電話番号 (連絡先)： 高等学校 E-mail：	※大学からは高等学校へ連絡をさせていただきます。       FAX：
---	--

送付先 E-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

## 【ワクワク研究室訪問について】

高校生が興味のある研究を行っている研究室を訪問し、研究内容について説明を聞いたり、部活動等で行っている研究について助言を求めるために、テーマと関係のある研究室を訪問するものです。

(1)1回の訪問で、1時間程度、1～3名程度を基本とします。訪問したい時期については、いくつかの可能な時期、曜日、時間帯を書いて下さい。2回目以降の訪問については、訪問した研究室の教員との話し合いで決まります。なお、2回目以降もその都度、高大連携推進室へ申し込みが必要です。

(2)希望する学部（分野）、教員名（わからなければ空欄でよい）、これまで興味を持って取り組んだこと、訪問の目的を記入の上、高等学校の先生を通して高大連携推進室へ提出してください。研究室によっては受入が困難なところもあり、必ずしもご希望に添えないことがありますので、あらかじめご了承ください。

(3)訪問後は毎回200字～300字程度のレポート提出を2週間以内に高大連携推進室へお願いします。

(4)実験を行う場合は、保険の加入をお願いいたします。また、実験の費用については、研究室の教員と高校との話し合いによって決めさせていただきます。

以上の件をご了解いただき、お申し込みくださいますようお願いいたします。

この件に関する問い合わせ先・申込用紙、レポートの提出先：

熊本大学高大連携推進室 〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1 096-342-2712

FAX:096-345-1954

E-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

## 令和6年度ワクワク研究室訪問実施状況

	学 部	申込件数	実施件数	参加人数		
				学生	教員 (保護者)	合計
県内	教育学部	2	2	7	0	7
	理学部	2	2	4	3	7
県外	薬学部	1	1	1	1	2
合計		5	5	12	4	16

### 【訪問者一覧】

県内	4校	県外	1校
千原台高等学校	1件 3名	れいめい高等学校（鹿児島）	1件 2名
熊本西高等学校	1件 6名		
八代清流高等学校	1件 1名		
熊本学園大付属高等学校	1件 4名		
合計		5校	

### 【訪問者のレポート（一部抜粋）】

【訪問先：教育学部】以前の私の中での『読解力』とは、文章を読み解く力という曖昧なものでしたが、先生のお話を聞いたり、OECD調査の問題を解く中で、問題から抜き出す力や書いてある文章から自分で意見を書くことも『読解力』との関りが深いことがわかりました。今回得た学びを通して、2000年代以前の日本での読解力の考え方と同じように、私は『読解力』の中の一部しか見えていなかったと感じました。

よく言われるように『読解力』は本をたくさん読むことで力がつくと考えていましたが、私のような考えの人は未だに多いと感じました。『読解力』とは筆者の意図を読み解く力が大切であるということを多くの人に伝えていくために、これからの探究活動に力を入れて頑張りたいです。

【訪問先：教育学部】いただいたご意見やアドバイスは私達の研究テーマに対する視野を広げるうえで非常に有益でした。「英語の語順で理解する」「英語をコミュニケーションツールとして捉える」といった、これからすぐに私達が実践できるアドバイスもお聞きすることができました。私は特に「英語が理解できると自己暗示をかける」という言葉が印象に残りました。これから間違いを恐れずに積極的に英語を話すことを心がけようと思います。また、AIの活用については大変興味深く、早速実践に活かすことを考えています。

【訪問先：理学部】普段の生物の授業で使用する教科書に載っている写真では細胞は平面になっていて細胞は平面だと思い込んでいました。しかし、講義「植物の気孔とバイオイメーキング」と2つの実習「細胞骨格の立体構造」「膜小胞の動画撮影」を通して、普段はめったに見ることが出来ない最先端の顕微鏡装置を使用し植物の細胞の画像と動画を撮影したことで、実際の細胞はデコボコしていて、静かに生きている植物も中では活発に動いているドットが存在していることがわかりました。また、実習の「バーチャルリアリティによる細胞の観察」はとても新鮮で、まるで自分が細胞サイズになったようで興味深い体験でした。

様々な角度から物事を見ることで想像が出来なかったことがわかり、他の分野にも活用が出来ることを学びました。これからは既成概念にとらわれ過ぎずに、柔軟に考えていきたいです。

【訪問先：理学部】今回の訪問で工場廃水を洗剤として活用することが可能であるということを学ばせていただきました。先生のお話を伺うまでは、私の仮説は不可能ではないかと、正直、諦めかけて悩んでおりました。戸田先生のお話を伺い、実際に「アルカリ」と「廃油」で石鹼づくりをおこないました。近日中に製作した石鹼を持って企業（日本製紙八代工場）に話を伺いに行きます。

【訪問先：薬学部】私が大学でしたい研究が熊本大学でできるか確認することができた。アスピリンについては、名前の由来からアスピリンが作用するメカニズムまで知ることができ、面白かった。薬学部卒業後の進路については、社会が問題解決能力と責任感を持った国立大学薬学部卒業生に対して期待しているということを知り、自分の可能性を広げるという意味でも大学院に行き研究を深めることに興味を持った。

## **4. 高大連携推進關係主要行事一覽**

令和6年度 高大連携推進プロジェクト関係主要行事一覧

月	日	曜日	実 施 行 事	備 考
令和6年				
4			「出前授業」随時受付開始 「ワクワク研究室訪問」随時受付開始	
5	27	月	第1回高大連携推進委員会	全学委員会
6	8	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 サテライト八代	2コマ
6	24	月	熊本大学と熊本県高等学校校長会との協議会	
6	25 27	火 木	高校教員向け熊本大学説明会	Zoomウェビナー
7	3	水	第1回企画専門委員会	副校長及び教頭先生とのWG
7	4	木	熊本大学入学者選抜等に関する懇談会	
7	6	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 水俣高校	2コマ
7	27 28	土 日	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 夏季プログラム	4コマ 6コマ
8	21	水	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 天草高校	2コマ同時開催
9	6	金	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 人吉高校	2コマ同時開催（放課後実施）
9	14	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 鹿本高校	2コマ同時開催
9	28	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 サテライト荒尾・玉名	2コマ
令和7年				
2	6	木	第2回企画専門委員会	副校長及び教頭先生とのWG
3	21	金	第2回高大連携推進委員会	全学委員会

令和 6 年度  
高校生のための熊大ワクワク事業の記録

発行日： 令和 7 年 3 月

編集： 熊本大学高大連携推進室

連絡先： 096-342-2712